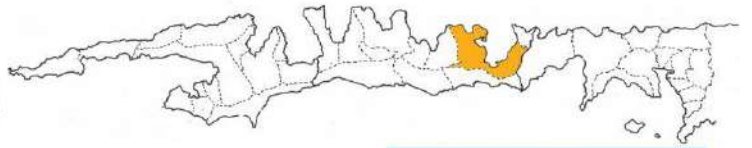


14 須賀の森



※県指定天然記念物（昭和45年3月27日指定第97号）

最高樹齢1500～1600年のウバメガシや最高樹齢1000年のビャクシン、ハマボウ、シャリンバイなど、豊かな植生が広がっている。



須賀の森はどうできたか？

須賀の森は、沿岸の流れや波によって形成された砂嘴の上に位置している。

砂嘴ができるまで



- ① 突き出た岩が削られ、砂礫が沿岸流に沿って細長く堆積する。
- ② 砂礫の堆積が進むと、沿岸流は湾の内側に回折し、内側に砂嘴が形成される。



- ③ 砂嘴が対岸まで伸び、湾をふさいでできたものを砂州という。
この砂州によって湾が湖になった地形を『潟湖(ラグーン)』といい、亀ヶ池や阿弥陀池がこれに当たる。

八幡神社

須賀の森の中にある八幡神社は、733年(天平5年)建立といわれており、九州宇佐八幡(大分)の分霊が流れついたものとされている。歴代宇和島藩主の信仰が厚く、数々の献上物が残されている。

六艘堀

参勤交代で往来した御座船などの船だまりだった。

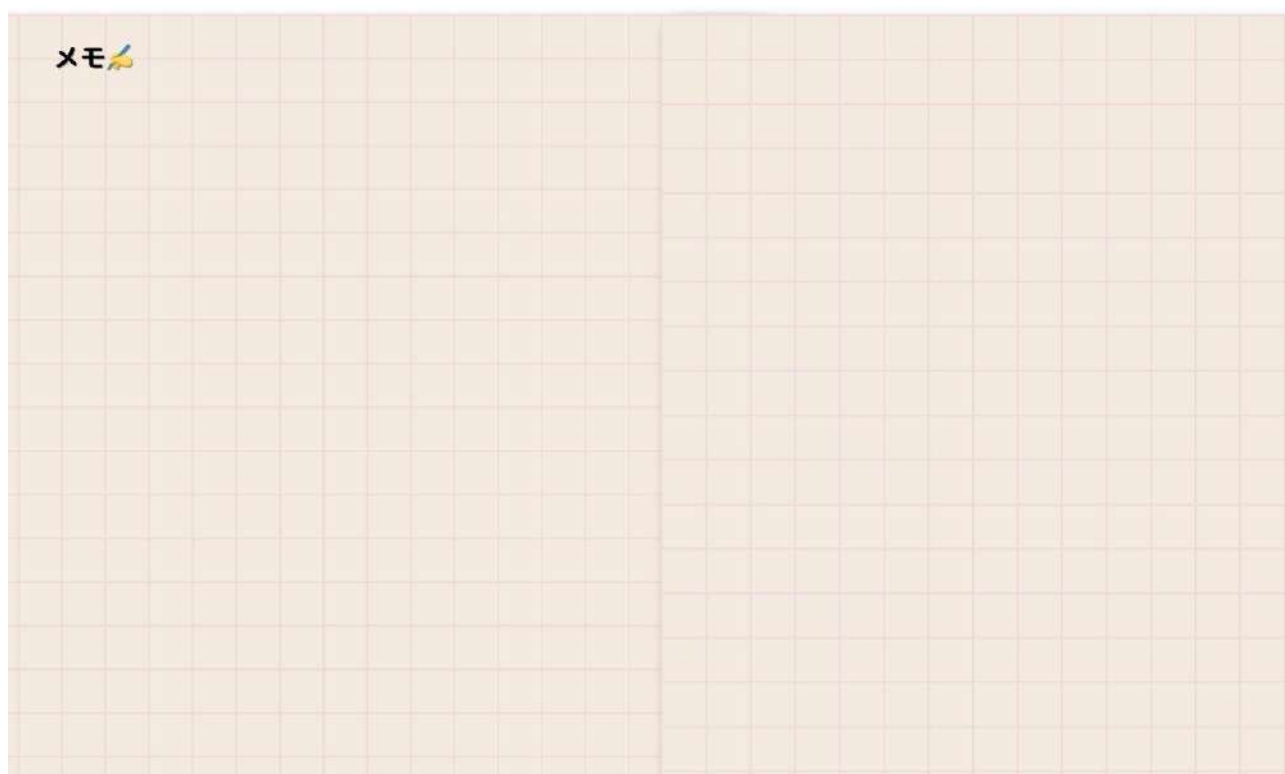
九軍神慰霊碑

三机湾はかつて、伊予灘唯一の避難港であり、天然の良港だった。

第二次世界大戦中1937(昭和12)年から特殊潜航艇の真珠湾攻撃を想定した秘密訓練の場として使われていた。1941(昭和16)年12月8日未明の真珠湾攻撃で亡くなった9人は「九軍神」と呼ばれ、①古野繁実少佐、②岩佐直治中佐、③横山正治少佐、④広尾章大尉、⑤横山薫範特務少尉、⑥佐々木直吉特務少尉、⑦上田定兵曹長、⑧片山義雄兵曹長、⑨稲垣清兵曹長のための慰霊碑が1966(昭和41)年8月に建てられた。

御所ヶ浜

須賀の森の北に面した浜で、神武天皇が東征時に嵐に遭い漂着したという伝説がある。この伝説から、「三机」という地名は、「御着江」が転じたという説がある。



15 日本(世界)農業遺産



日本農業遺産とは、世代を超えて受け継がれてきた伝統的な農林水産業や、それに関連する文化や生態系などが一体となった地域で、農林水産大臣が認定する伝統的な農業システムのこと。

愛媛・南予の柑橘農業システム

1. 美しい段々畑

石垣で囲われた段々畑では、園地における作業効率向上のため樹体をコンパクトに仕立て、収量を確保するため栽植密度を大きくするなど、家族経営を支える工夫がなされている。

2. 太陽の恵みと資源循環

南予地域は、平均気温が16℃を超える温暖な気候と「3つの太陽」など、良質な柑橘の生産に必要な条件が揃っている。

また、魚かすやアコヤガイの殻製の石灰質資材等、海の恵みを肥料として再利用したり、ジュースの絞りカス等をエサにみかんフィッシュや愛媛あかね和牛を育て、養殖・畜産業との連携による地域循環型農業を確立している。

3. 日本一を誇る柑橘の種類と生産量

愛媛県で生産される柑橘の約7割は南予地域で作られている。

また、生産者とみかん研究所の協働により、様々な品種の遺伝資源が保存されている。

4. 地域の強いつながり

意欲ある果樹生産者が団結し、果樹農業の振興に主体的に取り組む同志会組織は、南予地域に生まれ、全国に広がった長い歴史を有する組織。技術を後世に受け継いでいく取組も進められている。

また、「共選」は多数の小規模な家族経営が強固に結束し、主体的・戦略的な生産・販売に取り組む、この地域にしか見られない固有の組織である。

他にも、自然災害等に対応し、防風垣の整備や生産品種の多様化、大規模な灌漑網の整備など、足腰の強い産地を形成している。平成30年(2018)の西日本豪雨災害においても、地域が一丸となり産地の復興に取り組んだ。

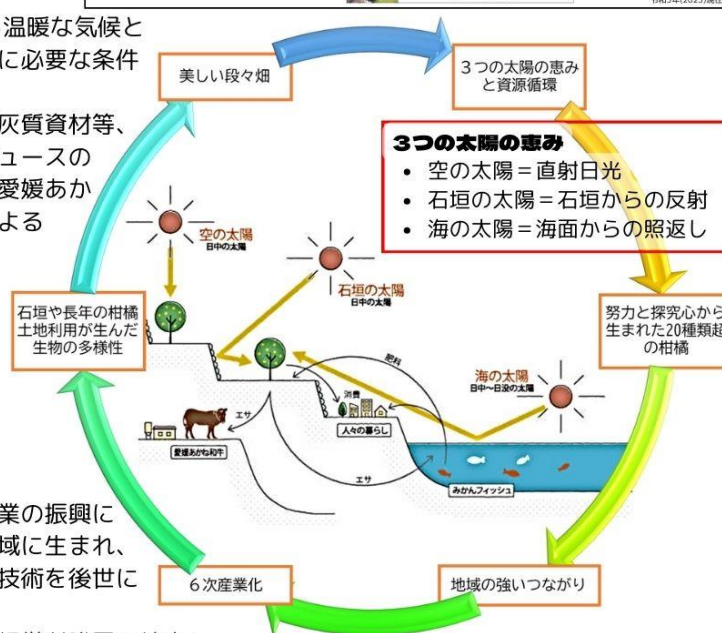
5. 6次産業化と高付加価値の推進

認知度向上に向けた取り組みとして、マルシェの開催や地元団体との連携による新たな料理の開発・販売を通じて消費拡大を促進。また、みかんジュースやマーマレードの価値向上を目的とした品評会の開催や、柑橘を使用したお菓子やクラフトビールなどの6次産業化商品の新たな開発にも取り組んでおり、さらには柑橘を活用した高付加価値な漁業・畜産業の展開も推進している。

6. 生物の多様性

急傾斜地に築かれた段々畑は、その側面に石垣を設けることにより、土壌の流亡、海への流入を軽減する役割を果たし、自然環境の保全に貢献している。

石垣は、植物にとっては厳しい環境だが、それゆえ外来種の侵入が阻まれ、ヒメウラジロやイヌノフグリなど、在来希少植物の良い生育環境となり、生物多様性を保全するうえで重要な役割を果たしている。



メモ



ヒメウラジロ



イヌノフグリ



トキワトラノオ

16 裂織り

昔の知恵と物を大切にする心から生まれたのが、織物の一種である「裂織り」。

この技術では、使わなくなった衣類など古い布を糸のように細く裂くことから始まり、これを緯糸として、経糸には木綿や麻を用いて織り込んでいく。

厚みがあり丈夫なその生地は、佐田岬半島特有の強風を通しにくく寒さも防ぐため、明治や大正時代を中心に、作業着や防寒着として愛用されてきた。

また、交通の便が悪かった佐田岬半島では、背中に荷物を背負って運ぶことが多かったが、裂織りを着ておくことで背中や肩の痛みを和らげる実用性もあった。

「オリコ」「ツツレ」「ニズリ」など、佐田岬半島内でも地域によって呼び名が異なり、裾を白く織り上げるスタイルが佐田岬半島オリジナルとして知られている。

裂織りが広まった背景として、佐田岬半島は南北に狭く、起伏の激しい地形で農地が少ないことから綿花の栽培が難しく、布が貴重だったことが上げられる。その昔、着物はほどいて仕立て直し、その生地がすり減ってしまったら、裂織りにして半纏にし、それでも使えなくなったら、焚き付けとして使っていた。

裂織りは、手織りならではの素朴さや風合いがあり、故郷の温もりを感じさせてくれる。使われなくなった布を、昔ながらの手法で新しい形に生まれ変わらせるこの裂織りは、「古いのに新しい」を象徴している。



メモ 🖋️

17 くらし今昔

1. 光

①電気がつく前のあかり

- 蠟燭（奈良時代～）
 - 大陸から輸入されていた蜜蝋
 - 室町時代から和蠟燭（木蝋燭）が作られるようになった。
※和蠟燭（木蝋燭）：灯芯（イグサ科の植物から採る灯芯）と和紙を芯にして、ハゼノキから採れる木蝋を塗り重ねて作られる植物性の蠟燭。
- 行灯（室町時代中期～）
 - 取っ手が付いた携帯用の灯火という意味から「行灯」と呼ばれている。蝋燭は高価だったので、菜種油などを使っていた。
- 石油ランプ（江戸時代後期～）
 - 一般庶民に普及するのは、文明開化の風潮が現れる明治初期。その後、行商人や雑貨屋などでも売り出された。
- ガス灯
 - 1871(明治4)年、大阪の造幣局周辺において、機械の燃料として用いていたガスを流用する形で工場内および近隣の街路を照らす日本初の西洋式ガス灯された。
 - 1872(明治5)年9月1日、高島嘉右衛門とフランス人技師の尽力により、横浜に最初のガス灯が造られた。また、同年9月29日に横浜の大江橋（桜木町駅近く現在の国道16号橋）から馬車道・本町通に設置された。
 - 1873(明治6)年、銀座にもガス灯が建設された。当時、これらのガス街灯の点灯・消灯業務にあたる人を点消方といった。



②電気がついた！

- 1878(明治11)年3月25日、日本で最初にアーク灯(弧光灯)と呼ばれる電灯が点灯された。虎ノ門工部大学(現在の東京大学工学部)で電池50を使用しアーク灯を点灯したことから、3月25日は電気の日となった。
- 1882(明治15)年11月1日、銀座で、アーク灯の公衆公開が行われた。電柱の高さは5丈、2000燭光の明るさだったという。「夜道=暗闇」が常識だった当時の市民にとって、大変な驚きだった。このイベントの仕掛け人は、設立前の東京電燈株式会社。一般市民に電灯照明への理解を深め、そのメリットを宣伝するためのデモンストレーションだった。その約3カ月後に、東京電燈は設立許可を得たことで、日本の発電・送電事業が欧米諸国から約2年しか遅れずにスタートできた。



③電灯の普及

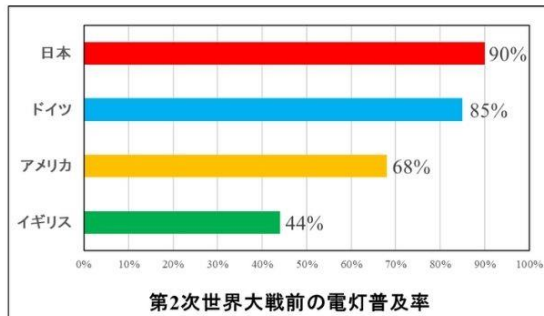
- 1879年：エジソンが日本の真竹をフィラメントに炭素電球を発明。
- 1904年：オーストリアの学者2人が「タングステンフィラメント」を発明。
- 1921年：東京電気(現・東芝)の三浦順一技師が、タングステン電球のコイルを二重にした「二重コイル電球」を開発し、熱損失の減少と電球の効率向上につながった。

光源	燭光
行灯	0.2
ろうそく	0.9
石油ランプ	3.2
炭素電球	8.5
タングステン電球	18.0



年号	年号	点灯場所
明治22年	1889	【四国初の電灯】 保内川之石（宇和紡績工場開設と同時期）
明治45年	1912	八幡浜地方（宇和水電営業開始と同時期）
大正2年	1913	川之石村、喜須来村、宮内村
大正11年	1922	伊方村、町見村、三机村、四ッ浜村、神松名村、三崎村
昭和24年	1949	九町越
昭和33年	1958	石見開拓地
昭和37年	1962	長崎

出典：伊方町誌



※1933年(昭和8年)～1935年(昭和10年)調べ

④第4世代のひかり：LED(発光ダイオード)

LED開発の歴史	
西暦	発見・開発された事物
1907年	イギリスのランドがSiCへの電圧印加による発光現象を発見
1927年	ソ連のローゼフが世界初のLEDを発表
1961年	アメリカのホロニアックが赤色LEDを開発
1968年	黄緑色LEDが開発される
1986年	赤崎・天野教授が実用輝度の青色LEDを開発
1993年	中村修二が高輝度青色LEDを発明・実用化
1995年	純粋な緑色LEDが開発される
1998年	青色LEDと黄色蛍光体の組み合わせによる白色LEDが開発される
2002年	紫外光LEDとRGB蛍光体の組み合わせによる白色LEDが開発される

2014年

赤崎・天野と共に
ノーベル物理学賞受賞

中村 修二さん
(伊方町大久出身)



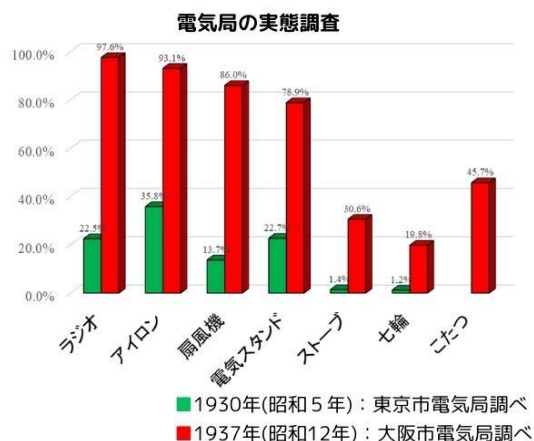
【光の三原色】
白色を作り出すためには、赤色・緑色・青色の光が必要。

メモ

2. 電気とくらし

①昭和初期の家庭電化

- 電化の影響
 - 生活の質の向上：電化製品の普及により、家事の負担が軽減され、余暇(文化・教育活動)の時間が増えた。
 - 都市化の進展：都市部では、電化製品の利用が進み、生活の利便性が向上。それによって、都市部への人口集中が進んだ。
 - 消費文化の形成：電化製品を購入することが一種のステータスとなり、家庭内のインテリアとしても重要視された。



②ラジオ放送開始

1926(大正15)年に電池式真空管ラジオが、1928(昭和3)年に電灯線を使用したエリミネーターラジオが登場したことで、ラジオ人気が上昇。

1930年代、全国的に放送局が設立され、家庭でニュースや音楽・ドラマなどが楽しめるようになり、情報源や娯楽の中心として広く親しまれるようになった。



③女性の生活を変えた家電

- 電気アイロン：衣類の手入れが楽になり、家事軽減に貢献。



- 炭の継ぎ足しが必要
- 火の粉や灰が落ち、衣類にシミや傷ができる



- 炭火の半分以下の費用
- 高温になると自動で切れる
- 仕上がりがキレイ

- 電気炊飯器：昭和初期、まだ一般的ではなかったが、後に普及し、炊飯が大幅に簡便化された。



煤が
付かない



就寝中に
炊ける



④三種の神器

※戦後の高度経済成長期（1950年代～1960年代）



- 戦後の高度経済成長期に、娯楽と情報の中心として普及率は急速に上昇した。



- 手洗いから洗濯機に変わったことで、主婦の時間と労力が大幅に軽減された。



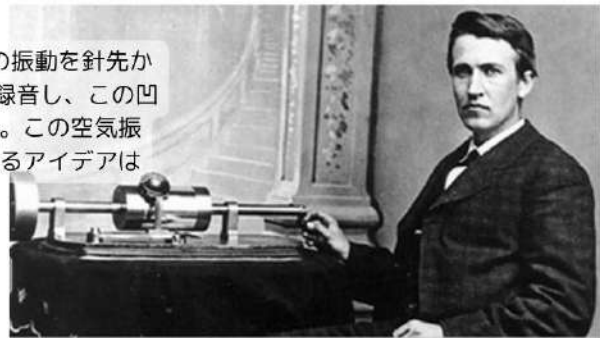
- 食品の保存が容易になり、食生活の質が向上。特に都市部で普及が進んだ。

⑤蓄音機

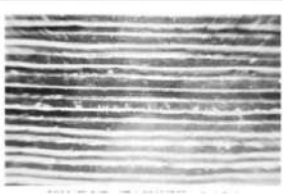
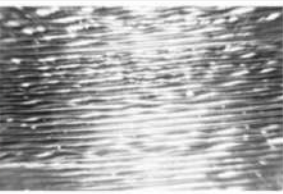
1877年、トーマス・エジソンが、音による空気の振動を針先から回転する円筒軸に巻いた錫箔(すずはく)に刻んで録音し、この凹凸を針先で拾って再生する錫箔式蓄音機を発明した。この空気振動と針先の振動との間で物理的に情報をやり取りするアイデアはLPレコードにまで受け継がれる。



第一声：「本日は晴天なり」



1907(明治40)年、松本武一郎が日米蓄音機製造株式会社を創立し、1910(明治43)年に国産蓄音器第1号「ニッポノホン」の製造・販売の開始した。
昭和初期、蓄音機を製造する会社が増え、普及が進んだ。

Sレコード	Lレコード
Standard Play	Long Play
片面5分収録	片面25分収録
78回転/分	33+1/3回転/分
 	 
手回し蓄音機 モノラル(溝の幅が平行)	ステレオ(溝の幅は複雑) ※アナログ録音として復活

メモ 📝



18 鯨塚・鯨地蔵

地球上最大の哺乳類―クジラー

四国最西端の細長く海に突き出た佐田岬半島では、沿岸に大きなクジラが流れ着くことがしばしばあった。「鯨一頭で七浦(郷)潤う」という言葉が日本各地に残っているほど、各集落に驚きと恵みをもたらしていた。



①川之浜の鯨塚

1887(明治20)年2月頃、水野兄弟が10m以上ある鯨が打ち上げられているのを川之浜の東海岸ワダ付近で発見。骨を埋葬して、この供養塔を建てた。



旧川之浜小学校内に建っていたが、2016年に高齢者総合福祉施設瀬戸あいじゅ建設にあたり、現在の場所へ移された。

*材質：緑色片岩

②名取の鯨塚

1930(昭和5)年頃、定置網に体長14.5mの鯨がかかった。解体すると、大量のイワシが出てきたことからイワシクジラ(ナガスクジラ科)と考えられている。

1949(昭和24)年6月20日のデラ台風により、一時流出したが、後に発見され現在の場所へ据えられた。

*材質：泥岩



③三崎の鯨地蔵

台座に「天保九戌戌歳七月日(1838年7月)」の銘文があり、江戸時代に遡る貴重な鯨塚の一つ。

三崎湾内に迷い込んだ鯨を捉えたところ、妊娠していたことが判明。その供養として建てられたと言い伝えられている。

*材質：花崗岩



④串の鯨塚

1882(明治15)年頃に漂着した鯨の供養に建てられた。塚の下には、骨が埋葬されているといわれていたことから「太魚様」と呼ばれていた。

かつては小さい塚もあったらしく、親子だったのではないかという説もあるが、小さい塚は、現在残っていない。

*材質：緑色片岩



⑤小島の鯨塚

1879(明治12)年、沿岸にある住吉神社付近の岩場に鯨が座礁したため、その骨を埋葬し、この碑が建てられた。銘文「自海魚鱗善鯨〇(下方は埋まっています読めない)」の「自」は、「積み重なったもの」の意があり、元は「大きな崖山の上に大きな岩が積み重なっている様子」を表した。

*材質：緑色片岩



メモ



⑥三机の鯨塚

三机湾で座礁した鯨をやむなく処分する際、鯨の血が温かいことに驚いた人々が供養のために建てたと伝えられている。

側面に「文化6年(1809)」の銘があり、佐田岬半島では在銘現存最古のもの。また「(為)妙鯨之位」という戒名が記されており、「妙」の字があることから雌の鯨だったと推測される。

宇和島藩『村壽公御代記録書抜』の同年11月11日に「三机浦江八尋余之鯨はせ上り繁留之由」とある。

また、絵図としても記録が残っている。武蔵野国多摩郷(今の東京)にいた幕府の家臣団「八王子先人同心」が第2次長州討伐に参加した際の従軍記『御進発御供中諸事筆記』には、「1809(文化6)年、三机港に座礁したクジラのために人々が港の周囲3カ所に供養の石塔や地蔵を建て置いた」と記されており、右写真のように台座に乗った地蔵の絵が描かれている。銘文等から、この鯨塚はこの台座と考えられる。

※材質：砂岩(現在、上部コンクリート)



⑦三机の鯨塚

須賀の森の近くにももう一つ鯨塚と伝えられる石塔がある。無銘で、建立年代は不明だが、「港の周囲3カ所に供養の石塔や地蔵を建て置いた」という記録を彷彿とさせる。

※材質：緑色片岩



⑧貝塚にクジラの骨(正野)

「野坂貝塚」からは、縄文～古墳時代の土器片が多数出土しており、さまざまな貝やシカ・イノシシ・魚の骨とともに、クジラやイルカなど海棲哺乳類の骨も見つかっている。

また、法華寺から出土した土器と同じものが見つかったことから、「東九州と南宇和郡の文化伝播ルートは、佐田岬半島(野坂貝塚など)を中継地としていたのではないか」という説が浮上している。

※右写真「クジラの骨」も含め、出土品は伊方町教育委員会が保管

⑨民話：『クジラの恩返し』(二名津)

昔々、二名津に幸吉という貧しいけど働き者で親切な男がいました。

ある月のきれいな夜、幸吉が浜を歩いていると、弱った小さなクジラを見つけました。急いで家に連れ帰り看病しましたが、クジラは死んでしまいました。死ぬ間際にクジラは言いました。「親切にしてください、ありがとうございます。私が死んだら、私の体から油を汲んでください。油は、7日7晩出ますが、けっして汲むのを止めないでください。お世話になったお礼です。」

クジラの言ったとおり、汲んでも汲んでも油が湧き出てきて、幸吉の生活は豊かになりました。

(『三崎町誌』より要約)

⑩⑪民話：津波のはなし(川永田・九町)

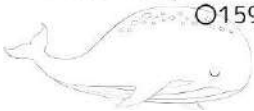
川永田…大津波が来た時、大きなクジラが浜に打ち上げられました。そのクジラは、お庄屋さんの堀のちょうど横に残っていました。津波が去った後、村人たちは調査したところ、クジラの長さが堀の長さ25間(約45m)よりもわずかに長かったと言われています。

九町…昔々、津波が天徳寺の前まで到達しました。その時、大鯨が奥の新川まで押し上げられていたと言われています。

※町内に記録は残っておらず、全て言い伝えである。『大日本地震資料』によると、伊予を襲った大津波は3件。

○1596(慶長元)年7月12日、○1604(慶長9)年12月16日、○1707(宝永4)年10月4日

(『ふるさとの歴史と文化財』より要約)



19 赤坂坊山石塔群

1981(昭和56)年、道路建設中に多くの石塔が見つかり、「五輪の丘」として整備された。これらの石塔は鎌倉～室町時代のもので、100基以上ある。

発掘された石塔は、瀬戸内海沿岸や九州方面からもたらされたもので、その当時、三崎地域が海上交通の要所であったことがわかる。

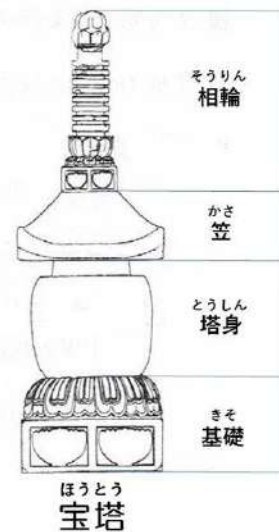
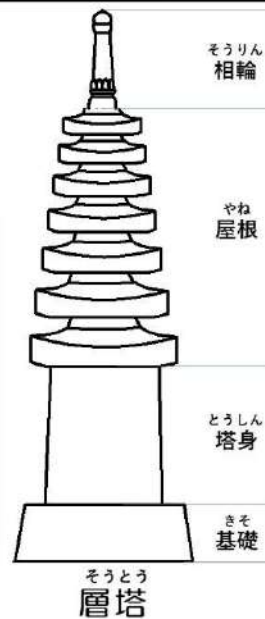
【石塔とは？】

石でつくった塔婆。本来は供養塔としてつくられたものだが、後に墓としても多く作られている。



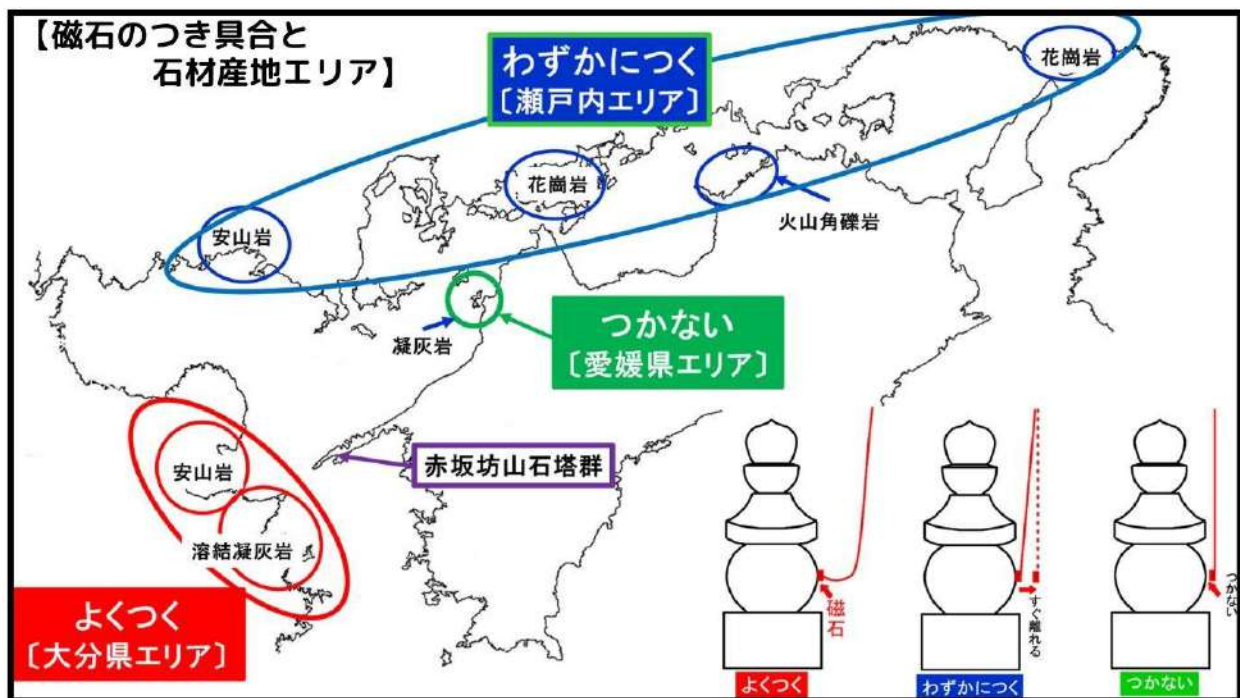
【石塔の種類】

 特に数が多い



- 五輪塔・・・平安時代平安中期頃から出現し、鎌倉時代頃からは宗派を越えて大流行した。密教（みっきょう）では、宇宙の要素を、地・水・火・風・空の五つで表し、大日如来の姿などとして信仰されている。
- 宝篋印塔・・・宝篋印陀羅尼(ほうきょういんだらに)の経文を納めた塔。鎌倉時代に密教系の塔として出現し、宗派を超え五輪塔とともに我が国の二大石塔として流行した。笠の四隅に突起がついているのが特徴。
- 層塔・・・仏教の伝来とともに始まったと考えられており、屋根が何層にも重なった木造の塔を石塔にしたもの。
- 宝塔・・・円筒形の塔身を有する一重塔。密教系の塔で平安時代後期から造られた。

メモ 



赤坂坊山石塔群の石材調査

グループ	番号	種別			部材	△愛媛県エリア	△瀬戸内エリア	○大分県エリア	×愛媛県エリア	
		五輪塔	宝篋印塔	宝塔						
①	1-1				火輪					
	1-2				火輪					
	1-3				水輪					
	2-1				地輪					
	2-2				水輪					
②	3-1				基礎					
	3-2				火輪					
	4-1				塔身					
	4-2				水輪					
	5				基礎塔身					
③	6-1				基礎					

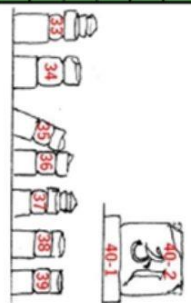
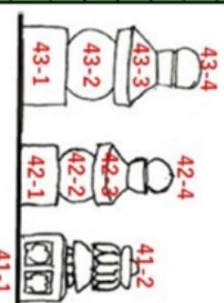
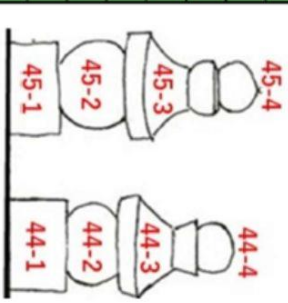
赤坂坊山石塔群の石材調査

グループ	番号	種別				部材	大分県エリア	瀬戸内エリア	愛媛県エリア
		五輪塔	宝篋印塔	宝塔	層塔				
⑨	19					地輪			
	20-1					水輪			
	20-2					火輪			
	20-3					空風輪			
⑩	20-4					空風輪			
	21-1					地輪			
	21-2					水輪			
	21-3					火輪			
	21-4					空風輪			
	22-1					地輪			
	22-2					水輪			
	22-3					火輪			
⑪	23-1					地輪			
	23-2					水輪			
	23-3					火輪			
	23-4					空風輪			
	24-1					地輪			
	24-2					水輪			
	24-3					火輪			
	24-4					空風輪			
⑫	25-1					地輪			
	25-2					水輪			
	25-3					火輪			
	25-4					空風輪			
	26-1					地輪			
	26-2					水輪			
	26-3					火輪			
	26-4					空風輪			

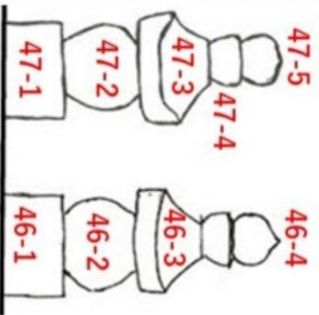
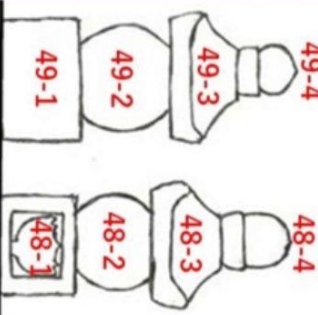
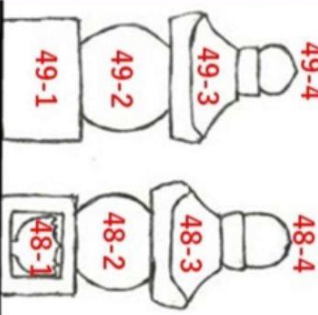
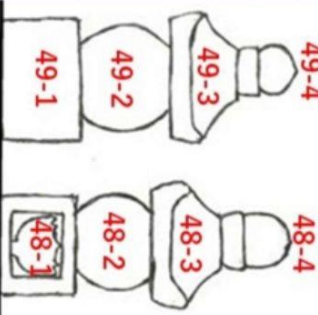
赤坂坊山石塔群の石材調査

グループ	番号	種別				部材	大分県エリア	瀬戸内エリア	愛媛県エリア
		五輪塔	宝篋印塔	宝塔	層塔				
⑬	27-1					地輪			
	27-2					水輪			
	27-3					火輪			
	27-4					空風輪			
	28-1					地輪			
	28-2					水輪			
	28-3					火輪			
	28-4					空風輪			
⑭	29-1					地輪			
	29-2					水輪			
	29-3					火輪			
	29-4					空風輪			
	30-1					地輪			
	30-2					水輪			
	30-3					火輪			
	30-4					空風輪			
⑮	31-1					地輪			
	31-2					水輪			
	31-3					火輪			
	31-4					相輪			
	32-1					地輪			
	32-2					水輪			
	32-3					火輪			
	32-4					空風輪			

赤坂坊山石塔群の石材調査

グループ	番号	種別				部材	○大分県エリア	△瀬戸内エリア	×愛媛県エリア	
		五輪塔	宝篋印塔	宝塔	層塔					
16	33									
	34									
	35									
	36									
	37									
17	38									
	39									
	40-1									
	40-2									
	41-1									
18	41-2									
	42-1									
	42-2									
	42-3									
	42-4									
19	43-1									
	43-2									
	43-3									
	43-4									
	44-1									
20	44-2									
	44-3									
	44-4									
	45-1									
	45-2									
21	45-3									
	45-4									
	46-1									
	46-2									
	46-3									

赤坂坊山石塔群の石材調査

グループ	番号	種別				部材	○大分県エリア	△瀬戸内エリア	×愛媛県エリア	
		五輪塔	宝篋印塔	宝塔	層塔					
19	46-1					地輪				
	46-2					水輪				
	46-3					火輪				
	46-4					空風輪				
	47-1					地輪				
20	47-2					水輪				
	47-3					火輪				
	47-4					空風輪				
	47-5					基礎				
	48-1					水輪				
	48-2					火輪				
	48-3					空風輪				
	48-4					地輪				
	49-1					水輪				
	49-2					火輪				
	49-3					空風輪				
	49-4					基礎				

20 動物のお地蔵さん



①②③石牛・牛地藏、④⑤馬地藏

①は、二名津の二名神社の石牛。1896年八幡浜川名津の石工「石田熊三」の作で台石の揮毫は広島県神辺別所(現・福山市)の「春沢範史」作。石牛は、二名津の他に釜木や正野にもある。

牛馬モチーフのお地藏さまは多い。かつて「三崎牛」で有名だった畜産の歴史もあり、農耕に使われて身近な動物でもあった。他にも、馬頭観音や牛峰信仰(伊予市双海町)関連の石仏が見られる。



⑥⑦⑧⑨狸地藏

狸に化かされぬよう供養のため、狸を彫刻した地藏を作り、他の地藏と祀ったと言われている。

三崎方面では、化かしたり、祟ったりする動物を供養するため、狸以外にも、オソ(カワウソ)や猫の地藏が作られている。

⑥の狸地藏は、昔あった大火の原因が狸によるものとされ、火災防止を祈願して祀ったと言われている。

⑦の二匹の狸を向かい合わせに彫った地藏には、豊神社と刻字されている。豊神社は、通称「狸地藏様」として、地域住民に崇敬されている。また、台座には「大正四年九月吉日 塩成安全」と刻まれている。

⑧は「狸神社」として祀られている。



⑩⑪鹿地藏

佐田岬半島には、半島最高峰の伽藍山(414m)や塩成の狩浜などを中心に鹿が沢山いたため、こうした鹿の供養と考えられるが、詳細は明らかではない。

※塩成に、宇和島藩主が参勤交代の途中、鹿狩した記録が残っている。



⑫カワウソ地藏

三崎八幡神社にあり、狸地藏と同様に化かしたり、祟ったりする動物を供養するために作られたらしい。



⑬⑭亀地藏

⑬は「亀大明神」。海沿いなのでウミガメと考えられる。

⑭は「亀地藏」。幕末の安政期の銘を刻まれているが由来は不明。他にも「亀の子さま」の祠があるのが亀ヶ池の由来との説もあり、佐田岬と亀には、深い縁がありそうである。



メモ

21 拓本

※拓本をとるときは、必ず所有者に許可を取り、対象物を汚さないことを約束しましょう！

1. 『拓本』とは？

石碑や金属器などに刻まれた文字や模様・図柄など、写真では浮かび上がってこない「過去の記録」を紙を当てて写し取ったもの。

本来は、専用の「拓本用墨」を使うが、ここでは身近に手に入る絵の具で挑戦！

アート作品としても収集することが出来るかどうかは、皆さんの「腕」次第！

2. 絵の具を使った拓本の手順



①準備物：布(ガーゼ)、たこ糸、綿(ポリエステル製)



②綿を丸め、布をかぶせる。
根元をたこ糸でしっかり巻く。
※綿と布の間に隙間ができないよう注意！



③余分なたこ糸を切る。
※てるてる坊主をつくる要領



④拓本を取る対象物の汚れやゴミをキレイに取り除く。



⑤対象物に画仙紙を当て、霧吹きで紙全体を湿らせる。
※文字や模様の凹みに水が溜まらないよう注意！
※風が強い時は、マスキングテープ等で固定する



⑥タオルで紙を対象物に押し付ける。



⑦タオルを真上から押し付け、紙と対象物の間の空気を取り除く。



⑧紙と対象物の間の空気を完全に追い出す。



⑨紙の表面が半乾きになるまで待つ。
※水分が多い場合は、ペーパータオル等で取る。
※乾きすぎた場合は、霧吹きで湿らせる。



⑩絵具を準備する。
※絵の具の量が多すぎるとムラになりやすいので注意！



⑪③で作ったタンポに絵の具を付ける。
※ムラにならないようタンポにまんべんなく延ばす。



⑫対象物の紙に絵の具を付けていく。
※最初は薄く、色を重ね徐々に濃くしていく。



⑬全体の濃さを調整する。
※紙皿の絵の具が乾いたら、タンポを霧吹きで湿らせ、紙皿で延ばす。



⑭紙がある程度乾くのを待ち、破れないようゆっくり剥がす。



⑮新聞紙に広げ、挟む。
乾いたら、隅の白い部分に採取日と名前を書く。

3. 拓墨を使った拓本の手順

絵の具を使った拓本の手順③～⑨同様、画仙紙を対象物に密着させる。
※細い文字や模様の部分は、紙が浮き上がらないよう、しっかり密着させる。

- ①タンポAを拓墨に押し ②タンポAでタンポBにまんべんなく墨を延ばす。 ③絵の具⑫同様、徐々に濃くしていく。



④全体の濃さを調整する。
細かい文字や模様は、部分的にコントラストを上げ見やすく。

メモ

22 弐墅截

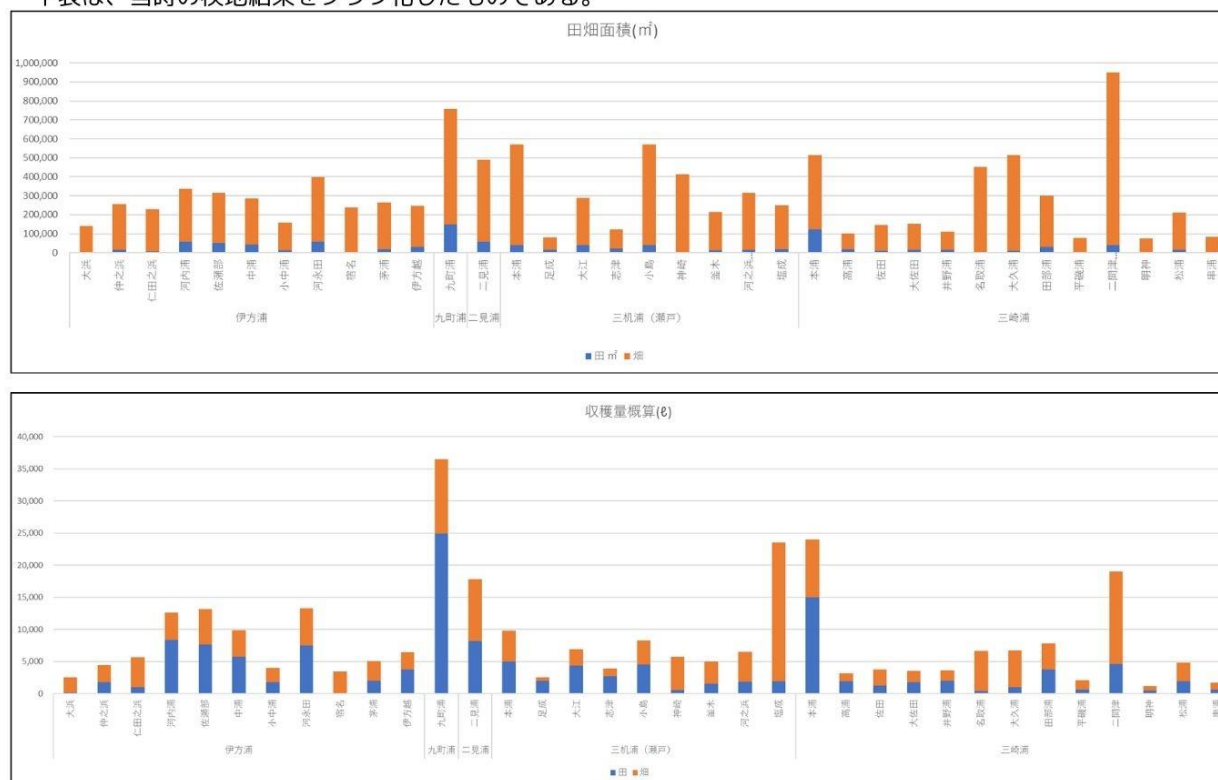
『弐墅截(いちのきり)』とは、江戸時代、四国・伊予にあった宇和島藩10万石を構成する各村毎の租税台帳のこと。「弐墅截」=「弐墅切」であり、「一村切(一村毎)」を意味する。

貞享元年(1684)に出来上がり、全16巻である。

下は『宇和島藩庁・伊達家史料 三 弐墅截 下』より抜粋したもの。

保内郷之内 三崎浦 此浦納 太浦 上ノ下 田方 上ノ下 水掛吉 高浦 下々 田方 中ノ下 水掛悪 佐田 下 田方 中ノ下 水掛悪 大佐田 下 田方 中ノ下 水掛悪 井ノ浦 中ノ下 田方 中ノ下 水掛悪 名取 中 田方 中ノ下 水掛悪 大久 中 田方 中ノ下 水掛悪 田部 上 田方 中ノ下 水掛吉 平磯 下 田方 中ノ下 水掛吉 二間津 中 田方 中ノ下 水掛吉 明神 下 田方 中ノ下 水掛悪 松浦 下 田方 中ノ下 水掛悪 車中 田方 中ノ下 水掛悪 右善悪へ内折之時庄屋中見分也	保内郷之内 三机浦 此浦納 本浦 上 田方 中ノ上 水掛悪 足成 中 右同断 水掛悪 大江 中 右同断 水掛悪 志津 中 田方 中ノ下 水掛悪 小島 中 田方 中ノ下 水掛悪 神崎 下 田方 中ノ下 水掛悪 釜木 中 田方 中ノ下 水掛悪 川之浜 下々 田方 中ノ下 水掛悪 堀成 下 田方 中ノ下 水掛悪 右善悪へ内折之時庄屋中見分也	保内郷之内 二見浦 一此浦納 中 一地面 田方 中ノ上 水掛中 右武蔵善悪へ内折之時庄屋中見分也 一水掛中	保内郷之内 伊方浦 此浦納 河内 中 田方 中ノ下 水掛吉 仁田 中 田方 中ノ下 水掛悪 大浜 中 田方 中ノ下 水掛吉 中ノ浜 中 田方 中ノ下 水掛吉 佐瀬 下 田方 中ノ下 水掛吉 伊方 中 田方 中ノ下 水掛吉 茅 中ノ上 田方 中ノ下 水掛吉 中浦 下 田方 中ノ下 水掛悪 小中浦 下 田方 中ノ下 水掛中 河永田 中 田方 中ノ下 水掛吉 宿名 中 田方 中ノ下 水掛悪 右善悪へ内折之時庄屋中見分也
--	--	---	--

下表は、当時の検地結果をグラフ化したものである。



メモ

【インタビューの記録】

日付	インタビューした方の名前	インタビュー内容

【参考文献】

- ・『宇和島藩庁・伊達家史料 三 弐堅載 下』編集/発行：近代史文庫宇和島研究会(1978年)
- ・『ふるさとの歴史と文化財』編集：伊方町文化財保護審議会/発行：伊方町教育委員会(1982年)
- ・『三崎町誌』編集：三崎町誌編集委員会/発行：三崎町(1985年)
- ・『瀬戸町誌』編集：瀬戸町誌編集委員会/発行：瀬戸町(1986年)
- ・『伊方町誌』編集：伊方町誌改定編集委員会/発行：伊方町(1987年)
- ・『日本列島の誕生』編集：平 朝彦/発行：岩波書店(1990年)
- ・『図説 世界の蓄音機』編集：三浦玄樹/発行：星雲社(1996年)
- ・『につぼん電化史』編集：橋爪紳也、西村 陽/発行：(社)日本電気協会新聞部(2005年)
- ・『三波川変成帯中の新たな独立した広域変成帯の存在』
編集：青木一勝ほか/発行：地学雑誌(2010年)
- ・『佐田岬半島の鯨塚～海の王様と三崎の人々の交流誌～』
調査・編集：町見郷土館サポーター「佐田岬みつけ隊」/発行：町見郷土館(2018年)
- ・『四国西予ジオパーク』：編集/発行：西予市・四国西予ジオパーク協議会(2018年)
- ・『佐田岬灯台－四国でいちばん九州に近い灯台－』編集/発行：町見郷土館(2019年再改訂)
- ・『佐田岬民俗ノート1』編集/発行：伊方町 町見郷土館(2020年)
- ・『佐田岬半島にある産業遺産！三崎精錬所を知ってるかい？』
編集/発行：三崎精錬所跡保全プロジェクト(2020年)
- ・『絵でわかる日本列島の誕生』：堤 之恭/発行：株式会社講談社（2021年）
- ・『碧い石垣－佐田岬半島石垣の魅力－』
編集：佐田岬みつけ隊/発行：佐田岬半島ミュージアム(2024年再版)
- ・農林水産省ホームページ(https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/giahs_1_2.html)
- ・大鹿村中央構造線博物館ホームページ(<https://mtl-muse.com/exhibit/display/rocksamples/>)
- ・山口大学理学部地球科学標本室 Gondwana 資料室ホームページ『日本列島の地質構造区分と主な地質体』(http://gondwana.sci.yamaguchi-u.ac.jp/?page_id=4845)



2 伊方町の知名度アップで人口減少ストップ（さだ岬爆誕）資料【地方創生☆政策アイデアコンテスト】

「佐田岬」の弱みを強みに変えて 伊方町の知名度アップで 人口減少ストップ！

愛媛県立三崎高等学校
チーム名:さだ岬爆誕

前 和幸
谷村 龍信
藤窪 春華
三木野 敦史
和田 楓葉
古澤 千夏



提案の流れ

- 1 最大の課題が人口減少である四国最西端の町、伊方町の紹介
- 2 全国には、人口が増加し続ける町があった
- 3 その町には企業が進出していた
- 4 企業を伊方町に誘致するためには
- 5 伊方町を全国の人に知ってもらう
- 6 伊方町最大の観光地「佐田岬」の活用
- 7 「佐田岬」そっくり「佐多岬」
- 8 「佐田岬」の弱みを強みに
- 9 皆さんに意見を聞きました
- 10 まとめ



1. 最大の課題が人口減少である四国最西端の町、伊方町の紹介 伊方町について

伊方町は愛媛県にある町で、四国最西端で日本一細長い「佐田岬半島」に位置しています。宇和海側には、なだらかな海岸が、瀬戸内海側には、リアス式海岸が形成されている自然豊かな町です。



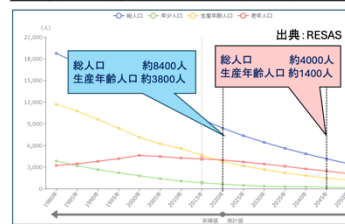
三崎高校について

三崎高校は、伊方町で唯一の県立高校です。全校生徒は、155人、半数以上は、伊方町外出身者で、寮で生活しています。県外出身者も多く、一番遠い所では、千葉県出身の生徒もいます！

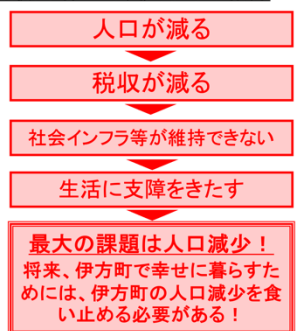
今回なぜこのようなことを考えたかという、こんなに自然豊かで暮らしやすいのに伊方町の人口が減り続けるのはもったいないと思い、この問題について考えました。



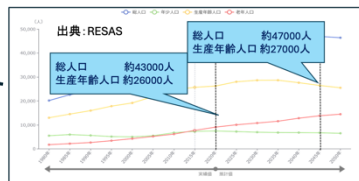
1. 最大の課題が人口減少である四国最西端の町、伊方町の紹介



年	2020	2045	減少率
総人口	8,397	4,146	49%
生産年齢人口	3,780	1,467	39%



2. 全国には人口が増加し続ける町があった



熊本県菊陽町の人口は、
・2020年 総人口約43000人、生産年齢人口約26000人が、
・2045年 総人口約47000人、生産年齢人口約27000人と人口が増加すると想定されています。

なぜ、菊陽町の人口は増加し続けるのでしょうか？

3. その町には、企業が進出していた

熊本県菊陽町には
世界最大の半導体製造会社「TSMC」
の進出を機に多くの企業が進出していました。

私たちは、人口減少対策には、
「企業誘致が有効」
だと考えました！

4. 企業を伊方町に誘致するためには

伊方町へ企業を誘致するために何をすべきか？
今年4月に伊方町にコールセンター（伊方ラボ）を開設したアップセルテクノロジーの高橋会長に聞きました。

まず、全国の多くの人に伊方町を知ってもらうことが大切

高橋会長は2022年12月知人の紹介で伊方町を知る



アップセルテクノロジー高橋会長



アップセルテクノロジー伊方ラボが設置された伊方町立旧水ヶ瀬小学校

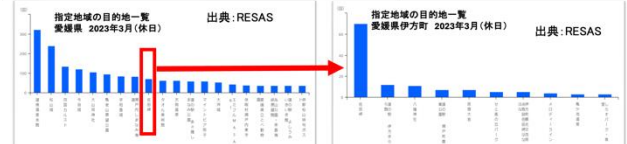


アップセルテクノロジー伊方ラボ開所式でご挨拶をされている高門町長

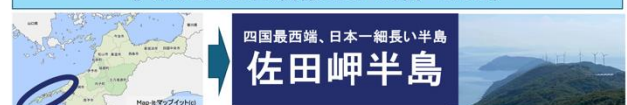
まずは、伊方町を全国の多くの人に知ってもらうことが重要！

アップセルテクノロジーの会社概要
・2004年1月設立
・2024年4月伊方町にコールセンター（伊方ラボ）開設
・代表取締役会長CEO 高橋 良太
・代表取締役CFO 執行役員社長 江原 正樹
・従業員数 約1000人
伊方ラボ: 7名(うち1名伊方町への移住者)

5. 伊方町を全国の人に知ってもらう



伊方町といえば「佐田岬」で、伊方町最大の観光地は「佐田岬」ですが、伊方町と佐田岬の関係について、調べました。



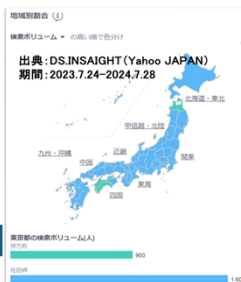
6. 伊方町最大の観光地「佐田岬」の活用

・伊方町と佐田岬の関係

伊方町、佐田岬のYahoo JAPANでの検索状況



伊方町より佐田岬の方が有名！
「佐田岬」を活用して伊方町の
知名度がアップする案を考えましたが…



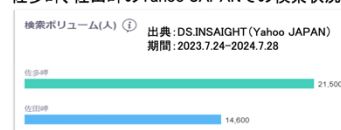
7. 「佐田岬」そっくり「佐多岬」

鹿児島県に「佐田岬」にそっくりな「佐多岬」があることを知りました。



7. 「佐田岬」そっくり「佐多岬」

佐多岬、佐田岬のYahoo JAPANでの検索状況

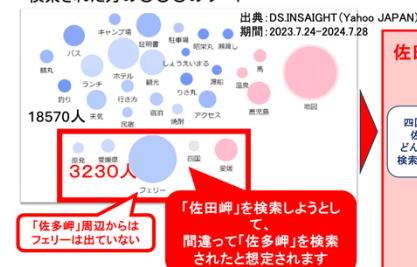


佐田岬より佐多岬の方が多く
検索されている！
(佐多岬の方が有名)



7. 「佐田岬」そっくり「佐多岬」

・Yahoo JAPANで「佐多岬」で
検索された方の○○○のワード



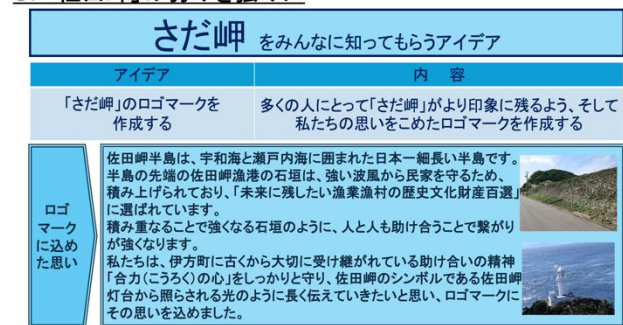
佐田岬の弱みは、「佐多岬」
に間違われることです。



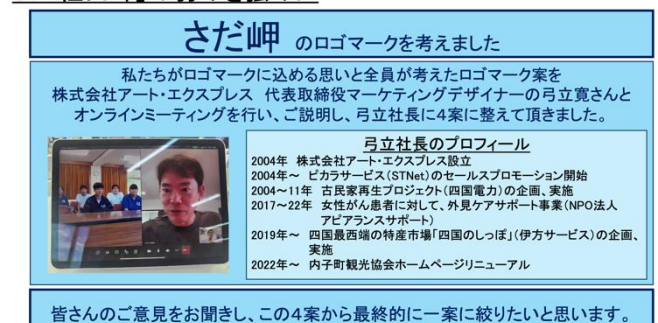
8. 「佐田岬」の弱みを強みに



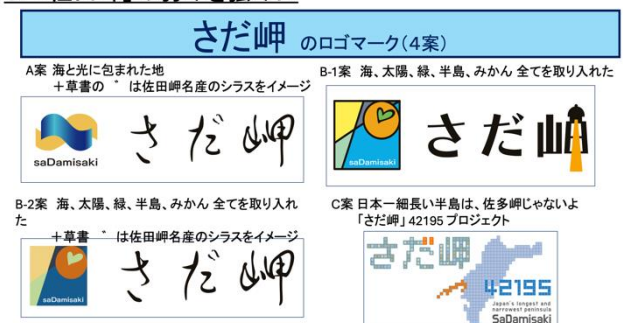
8. 「佐田岬」の弱みを強みに



8. 「佐田岬」の弱みを強みに



8. 「佐田岬」の弱みを強みに



8.「佐田岬」の弱みを強みに

さだ岬 の活用アイデア



「さだ岬町」へ
香川県が知名度向上のため、名物の讃岐うどんを活用し、通称を「うどん県」としたように「伊方町」の通称を「さだ岬町」にする。

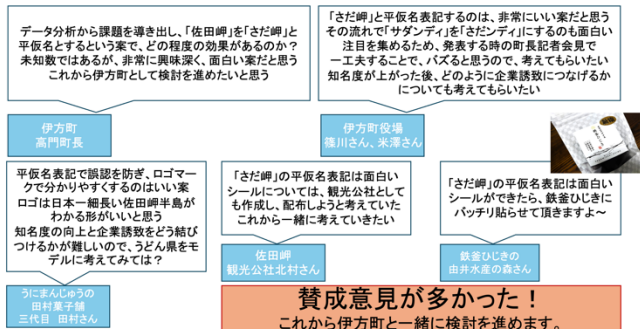
「さだンディー」へ
ゆるバース2023(旧ゆるキャラグランプリ)で4位となった伊方町のイメージキャラクター「サダンディー」の名前を「さだンディー」にする。

8.「佐田岬」の弱みを強みに

活用アイデア等のPR方法と費用

PR方法	説明	費用	費用内訳
記者会見	伊方町高門町長に 1. 佐田岬を「さだ岬」にする 2. 伊方町の通称を「さだ岬町」にする 3. サダンディーを「さだンディー」にする ことを記者会見で発表し、新聞、インターネットのニュースで配信してもらう。	0円	
SNS発信	上記3点を伊方町、佐田岬観光公社等の公式SNS、伊方町関係者にお願ひし、積極的に発信してもらう。	0円	
ポスター	「佐田岬」+「さだ岬」、さだ岬町、さだンディーのポスターを作成し、多くの人が行き来し、集まる場所に(無料で)貼ってもらう。	50万円	100円/枚 × 5000枚
シール	「佐田岬+さだ岬」となったシールを作成し、鉄釜ひじき、うに饅頭、みっちゃん大福等伊方町特産品、お土産品に貼ってもらう。	25万円	2.5円/枚× 10万枚
合計		75万円	

9. 皆さんに意見を聞きました



10. まとめ

〇効果について

香川県を「**うどん県**」にした(2011.10)ことによる効果として、2012年に香川県を訪れた観光客が前年に比べ**2.6%増加**したことから、「**さだ岬**」による効果として、伊方町への観光客が**2.6%増加**することが期待できます。
2023年の伊方町への観光客数は、**393,295人**(消費額:567,871千円、一人当たり1,400円)で、「**さだ岬**」の効果としては、
 $393,295人 \times 2.6\% = 10,225人$ (観光客の増加人数)
 $10,225人 \times 1,443円 = 1,476万円/年$
と想定され、P18の費用(75万円)は**1ヶ月で回収できる**と考えています。

◎本来の目的に対して

私たちは、今回の分析を通じ、人口減少を防ぐには、企業を誘致することが有効であることが分かりました。そして、伊方町に企業を誘致するためには、まずは、伊方町の知名度を向上させることが重要であり、伊方町最大の観光スポットである「佐田岬の活用」を考え、分析していく「佐田岬の弱み」を見付けました。その佐田岬の「弱み」を「強み」に変えるよう「佐田岬」+「さだ岬」とし、「さだ岬町」、「さだンディー」や「さだ岬」ロゴマークを作成することにより伊方町への注目が集まり、伊方町の認知度が向上すると考えます。先ず、私たちは、その「さだ岬」の実現を伊方町と一緒に検討し、それを一時的なブームで終わらせるのではなく、伊方町の素晴らしさを伊方町の皆さんと一緒に継続して発信し、企業誘致による人口減少をストップさせていきたいと思っています。

3 未咲輝ゼミ資料

(1) 地歴ゼミ 活動報告書

回数	実施日	場所	人数	種別
第6回	2024/5/10	地歴教室、 学校周辺	12名	フィールドワーク(校庭)
【実施内容】 身近な場所にある見落としがちな植物に注目し 押花にするなど観察力を高めた。				   

回数	実施日	場所	人数	種別
第7回	2024/5/13	伊予市、西条市	13名	フィールドワーク(町外)
【実施内容】 ①伊予断層(伊予市稲荷)痕跡踏査 ②砥部衝上断層見学 ③岡村断層(西条市福武)痕跡踏査、金剛院石造五重塔見学 ④加茂川の河川敷で紅麻石探し				   

回数	実施日	場所	人数	種別
第8回	2024/5/28	地歴教室	5名	座学
【実施内容】 連絡調整員選出した(1年生は川名、2年生は田中、3年生は個別に対応)。 ・次回踏査する伊方越について概要説明した。 ・フリートーク(妖怪についてなど)を行った。 ・参加人数が多い場合は、数回に分けて実施する。				

回数	実施日	場所	人数	種別
第9回	2024/6/11	司書室	8名	実習・調査
【実施内容】 卒業アルバム、研究紀要を調査し、 三崎高校の歴史を感じていた。				  

回数	実施日	場所	人数	種別
第10回	2024/6/15	伊方越	7名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 門田元氏の案内で、集落内、前之浜、鯛ノ浦を散策した(鯛ノ浦では海岸清掃を行った)。				   

回数	実施日	場所	人数	種別
第11回	2024/6/16	伊方越	8名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 門田元氏の案内で、集落内、前之浜、鯛ノ浦を散策した(鯛ノ浦では海岸清掃を行った)。				   

回数	実施日	場所	人数	種別
第12回	2024/7/7	小島、番匠鼻	1名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 ①小島では、海蝕洞窟・洞門、層状チャート、赤色珪質片岩、黒色片岩などを観察し、小石採取を行った。 ②番匠鼻では、微褶曲や玄武岩貫入の岩脈などを観察した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第13回	2024/7/8	宇和方面	3名	フィールドワーク(町外)・施設見学
【実施内容】 ①笠置峠古墳では、4世紀の古墳のほか廻路道の見学ができた ②遊子赤色頁岩露頭では、赤色チャートとの違いなどを学んだ。 ③四国西予ジオミュージアムでは、ゲームで西予ジオパークを実感した ④下相露頭では、ジュラ紀二枚貝の化石を観察できた。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第14回	2024/7/13	番匠鼻、ミュージアム	4名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 番匠鼻では、写し雪場(ミニ八十八ヶ所)および褶曲などの地層を観察した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第15回	2024/7/14	ミュージアム、番匠鼻	4名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 ①番匠鼻では、写し雪場(ミニ八十八ヶ所)および褶曲などの地層を観察した。 ②佐田岬半島ミュージアムでは、地学に関するミニ抗議を行った。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第16回	2024/7/20	小島、大江	4名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 小島で海蝕洞窟・洞門、層状チャートなど地質観察の後、水中ドローンの試運転を行った。 大江桟橋で水中ドローンの試運転を行った後、長岡さんお宅で懇親を深めた。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第17回	2024/8/8	松山・伊予市	2名	フィールドワーク・施設見学(町外)
【実施内容】 ①坂の上の雲：司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』を題材とした展示などを堪能。特に日露戦争について十分な理解を得られた。 ②伊予丘八幡神社：神社のご厚意で日露戦争の絵馬見学ができ地元の方の説明も聞くことができた。境内には古墳がある。 ③彩寶館、五色浜：伊藤博文も訪れ、日露戦争中には、ロシア人将校をもてなした施設を見学。五色浜では多様な石をみつけた。				
   				

回数	実施日	場所	人数	種別
第18回	2024/9/12	図書教室	2名	実習
【実施内容】 ①今後の予定について：小石による地質図の作成要領、ミニ八十八ヶ所の石仏調査、大洲バスオマース発電所見学など。 ②地震の話：南海トラフ地震地震臨時情報、スロースリップなど				
 				

回数	実施日	場所	人数	種別
第19回	2024/9/18	地歴教室	5名	実習
【実施内容】 小石による地質図作成をスタート：佐田岬半島地図の輪郭をカット。				
   				

回数	実施日	場所	人数	種別
第20回	2024/9/23	釜木	3名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 佐田岬みつけ隊のメンバー4名と合同で釜木地区を散策した。途中、地元の方に釜木についていろいろな話を聞くことができた。				
    				

回数	実施日	場所	人数	種別
第21回	2024/10/6	番匠鼻・佐市	2名	フィールドワーク・演習(町内)
【実施内容】 番匠鼻入口に置かれているミニ八十八ヶ所石仏2体の拓本をとり、造形手法の違いなど観察できた。佐市の海岸には奇岩がありその不思議さに直面した。				
   				

回数	実施日	場所	人数	種別
第22回	2024/10/8	図書室	7名	実習
【実施内容】 海岸線に沿ってカットした佐田岬半島の地図を発泡スチロール(デコパネ)に貼り付けて、輪郭をニクロム線でカットした。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第23回	2024/10/13	宇和島方面	4名	フィールドワーク(町外)・施設見学
【実施内容】 赤松地区の砂岩の露頭は、佐田岬半島で見られる石仏など近世以降の石造物に使われた石材と同質の物であることを確認した。宇和島城では、宇和島藩ゆかりの展示物、石垣などを観察した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第24回	2024/10/20	宇和島方面	3名	フィールドワーク(町外)・施設見学
【実施内容】 石応観音寺周辺を散策した。伊達博物館、宇和島城では、宇和島藩ゆかりの展示物や石垣などを見学した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第25回	2024/10/22	図書室	9名	実習
【実施内容】 採取してきた小石をさらに小さく砕いて、前回ゼミで輪郭カットした地質図に小石を貼り付ける作業を行った。これと並行して、番匠鼻入口石仏の拓本に裏打ちを行った。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第26回	2024/10/29	地歴教室	5名	実習
【実施内容】 文化祭準備として、前回裏打ちを行った石仏の拓本を展示するための簡易表装を実施した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第27回	2024/11/1		9名	文化祭準備
【実施内容】 11月3日文化祭でゼミの活動内容を展示するブースを計画し、「活動記録写真コーナー」「拓本コーナー（昨年度実施した宇都宮誠集功徳碑、石仏）」「昨年度実施した松森城ジオラマ、今年度計画の小石の夜地質図製作コーナー」さらに「ワークショップコーナー（古墳のジオラマづくり）」を設営した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第28回	2024/11/6	大洲	5名	施設見学
【実施内容】 エネルギーゼミと合同で、大洲バイオマス発電所を見学した。発電設備の概要などの説明を受けたのち、担当の方のわかりやすい説明を受けながら、中央操作室を含むプラント内部を見学した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第29回	2024/11/13	生物教室	3名	実習
【実施内容】 地質図に貼り付ける岩石の種類を確認するため、佐田岬半島で見られる岩石サンプルを手にとって観察した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第30回	2024/11/17	県歴博	3名	フィールドワーク(町外)・施設見学
【実施内容】 西予市の明石寺を散策した後、愛媛県歴史文化博物館で開催中の特別展「国絵図の世界～甦る正保伊予国絵図～」を見学した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第31回	2024/11/19	図書室	3名	実習・フリーターキング
【実施内容】 顕微鏡を使い佐田岬半島で見られる岩石の岩相など観察した。また、今後の活動(お泊まりゼミの内容など)についてフリーターキングを行った。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第32回	2024/12/5	図書室	15名	フリーターキング
【実施内容】 地震(スロースリップ等)、南海トラフ地震に伴う富士山の噴火のメカニズムなど。ゼミ活動について愛媛新聞の取材を受けた。				

回数	実施日	場所	人数	種別
第33回	2024/12/7	名取方面	6名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 名取地区では、小さな鍾乳洞を見学の後、変斑れい岩露頭を観察した。黒瀬海岸へ降りて、変斑れい岩、角閃岩の露頭などを観察した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第34回	2024/12/8	松方面	5名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 見舞崎海岸では、「鬼の涙」と呼ばれる玄武岩が貫入した露頭などを観察した。松地区では、宇都宮誠集の墓所を見学した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第35回	2024/12/11	串、半田、与修	7名	フィールドワーク(町内)
【実施内容】 串地区では山下梅若功德碑、天満神社を見学、半田海岸、与修港および集落を散策した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第36回	1月6,7日	アグリピア	11名	実習・合宿
【実施内容】 今年度活動のまとめ、今後の予定など確認した。 お菓子作り、朝食準備に時間を費やし、岩石プレバート作成など実施できなかった。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第37回	2025/1/16	地歴教室	3名	佐田岬みつけ隊総会準備
【実施内容】 1月18日佐田岬みつけ隊総会の実施報告に向けて、パワーポイントではなくパネルで発表することとし準備を行った。パネルを使つての発表は初めてなので、その段取りなども話し合った。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第38回	2025/1/18	三机、田部、ミュージアム	4名	フィールドワーク・佐田岬みつけ隊総会
【実施内容】 午前中、三机集落と長養寺散策をした後、佐田岬みつけ隊総会(佐田岬半島ミュージアム)で、パネルを使って活動報告を発表した。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第39回	2025/1/21	地歴教室	5名	SENTAN発表会準備
【実施内容】 地質図作成および24日の準備を行った。10分程度の発表に収まるよう役割分担なども決めた。				

回数	実施日	場所	人数	種別
第40回	2025/1/26	科博	4名	フィールドワーク・施設見学
【実施内容】 愛媛総合博物館の特別展で伊方町大久で発見された新鉱物(伊予石)の現物をはじめさまざまな鉱物を見ることができた。途中、長浜では綱掛け岩で休憩をとり、「藤原広嗣の乱」について学んだ。				
				

回数	実施日	場所	人数	種別
第41回	2025/2/13	地歴教室	5名	実習
【実施内容】 地質図作りは台座を海に見立て、カラーリングを行い、岩石の種類ごとに小石張り付け作業を実施した。進捗率は、80%程になったが、今年度中の完成見通しは難しいと思われる。				
				

(2) Café to 燈人（あかりびと） イベントポスター・佐田岬灯台キャラクター

日本財団 海と灯台プロジェクト

特別な装飾の灯台を是非見に来てね!

佐田岬灯台を特別開放!

渚のエメラルドマルシェ

2024年11月4日(月)祝

12:00~エメラルドタイムまで(17:15頃)

場所 佐田岬灯台と旧官舎跡地周辺
〒796-0823 愛媛県西予郡伊方町正野2935

三崎高校生による灯台カフェ
「せんたん珈琲」

ハンドリップで一掃する事に海れるコーヒーは絶品! 佐田岬半島の海を愛したグッズや佐田岬灯台をイメージしたエメラルドグッズも! これまでの取り組みはこちらから

飲食ブース

- 楽しいなシェフが作る灯台イセエビカレー
- 田村菓子舗のパン
- 道の駅 伊方から産物の贈り物

三崎高校生が考案した
灯台キャラクターグッズの販売

「さだうみー」です

ご来場の際は

灯台駐車場は台数が限られていますので、乗り合わせでのご来場にご協力お願いします。
イベント会場までは約10分歩きます。歩きやすい服装・シューズでご参加ください。
※歩道には電灯がありません。エメラルドタイムを鑑賞する方は、各自で懐中電灯をご持参ください。

日本財団 海と灯台プロジェクト

このイベントは三崎町を活性化させるために、地元企業・団体と連携して開催しています。

第3回 愛媛の海 釣ってさばいて 甲子園 in 三崎

海鮮BBQも!

1泊2日で開催! 競技は全4種目!!
チームで力を合わせて合計ポイントを競います!

2024年
11月9日(土)~10日(日)

1人につき
2,000円
(※宿泊費含む)

場所 伊方町 三崎港周辺

応募先 下記のいずれかの方にてお申し込みください。

1 南海放送のホームページから申込み
<https://www.nbs.co.jp>

2 愛媛の海 釣ってさばいて甲子園 実行委員会(三崎高校)まで申込用紙を郵送

参加対象: 愛媛県内の高校生 12チーム

1チーム3人制 計36名
1高校につき3チームまで参加可能

応募締切: 10月31日(木)必着

※申込みは先着順となります。12チームの応募があった時点で申込期限でも締め切らせていただきます。

大会の詳細については裏面をご覧ください。

お問い合わせ先 南海放送イベントプロモーション部 ☎089-915-0909(平日10時~17時)

はじめまして
あかりんファミリーの「さだうみー」です。

佐田岬半島灯台キャラクター
さだうみー

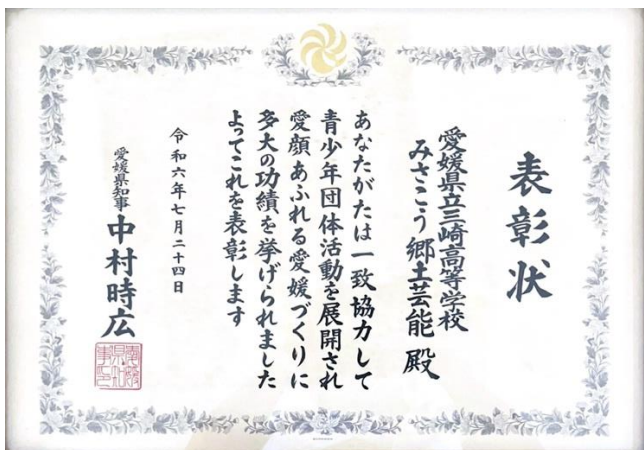
わかしは佐田岬にもカワウソウがたくさんいます。ばくたちあかりんファミリーは灯台へと家を変えて、今も佐田岬半島を見守っているかわうそファミリーです。

佐田岬半島灯台MAP

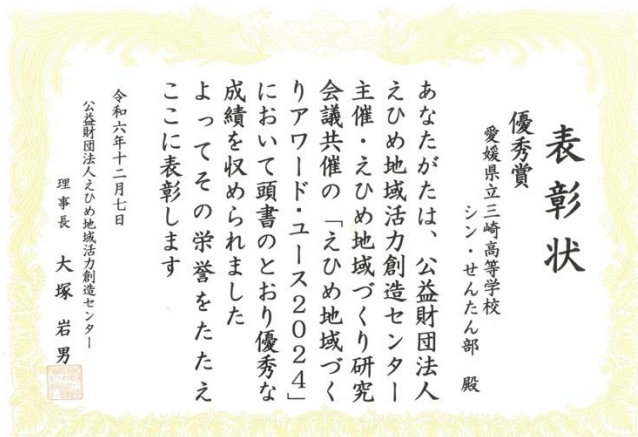
番号	キャラクター名	灯台	高さ	築年
1	さだうみー	佐田岬灯台	1918.4.1	18m
2	みーまい	佐田岬灯台	1976.12.15	10.9m
3	すかぽう	三崎港 三崎港灯台	1951.3.20	9.17m
4	ふっきー	佐田岬港 第一灯台	1956.3.30	11.2m
5	さだぼう	佐田岬港 第二灯台	1963.11.27	9.3m
6	みさぼう	伊予三崎港 三崎港灯台	1965.1.16	8.3m
7	いのっち	伊予三崎港 三崎港灯台	1974.3.27	9.5m
8	しよーたる	佐田岬港 第一灯台	1955.2.6	不明
9	めっきー	佐田岬港 第一灯台	1977.11.10	18m
10	むろっち	佐田岬港 第一灯台	1973.1.9	18m

4 表彰状等

(1) みさこう郷土芸能活動「令和6年度愛媛県優良青少年団体知事賞」



(2) 三崎高校せんたんプロジェクト「えひめ地域づくりアワード・ユース 2024 優秀賞（愛媛県2位）」



(3) さだ岬爆誕チーム「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2024 優秀賞（全国2位）・四国経済産業局長賞（四国1位）」

